

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス デイズサポートBell		
○保護者評価実施期間	～ 令和7年 12月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28世帯	(回答者数) 24世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 8日 ～ 令和7年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定されないよう毎回工夫している	・季節のイベントや、静と動の活動(遊び)を取り入れる等、毎月活動内容を計画している。 ・長期休みや土曜日は普段できない活動(遠出・外食・買い物等)取り入れている。	・活動の狙いが具体的になるように一人ひとりの支援内容について日々の振り返りに加え、ミーティングで話し合う場を設ける。
2	ST(言語聴覚士)による支援	・月に3～4回STによる支援が開始。 必要に応じて個別支援を行ったり、職員研修、保護者向けの講演会など行っていく。	・保護医者のニーズにこたえ、随時相談会や講演会を開催していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境・体制整備】 十分な療育スペースや個別支援スペースがとれていない。	・法的には順守されたスペースではあるが、運動遊びや個別支援となると不便さがある。	・長期休みや土曜日は近くの公園や体育館を使用している。室内でも簡単なボール遊び等は出来ており、工夫しながら使用している。
2	地域との交流や保護者やきょうだい交流の機会が乏しい。	・学校終了時からの利用のため利用時間が短い。 ・保護者との日程調整や場所等を考えると現実には難しい。	・公共施設等を借りて研修会や講演会等、今後開催していきたい。
3	【関係機関との連携】 ・地域との交流が少ない	・連絡会等への参加が不十分。 ・学校や他事業所との共有	・送迎時や担当者会議等で児の様子を聞きながら供していきたい。